

(別添3)

## 介護支援専門員専門研修実施要綱

### 1. 目的

現任の介護支援専門員に対して、一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識、技能の修得を図ることにより、その専門性を高め、もって介護支援専門員の資質向上を図ることを目的とする。

### 2. 対象者

#### ア 専門研修課程

専門研修課程 の研修対象者は、原則として、介護支援専門員としての実務に従事している者であって、就業後6か月以上の者とする。

#### イ 専門研修課程

専門研修課程 の研修対象者は、原則として、介護支援専門員としての実務に従事している者であって、就業後3年以上の者とする。

### 3. 実施方法等

#### (1) 実施に当たっての基本的な考え方

個々の介護支援専門員の経験・知識等を考慮し、研修課程を専門研修課程 及び専門研修課程 に区分し、それぞれ介護支援専門員の習熟度に応じて実施すること。

また、介護支援専門員が実際に直面している問題を把握し、実際のサービスや施策の状況、介護支援専門員の状況を踏まえた研修内容とすること。

なお、本研修は、実務研修から連続する一連の研修体系の中に位置づけられるものであり、それぞれ対象となる現任の介護支援専門員の全員が受講することが望ましい。また、専門研修課程 は、1回の受講で修了するものではなく、一定の期間ごとに、技術の再確認及び向上のために繰り返し受講することが望ましい。

#### (2) 研修内容

##### ア 専門研修課程

専門研修課程 について、具体的な研修の実施の考え方、各課程ごとの目的、内容等については以下のとおりであり、合計33時間以上とする。

なお、 から の課目を必修課目とし、 から の課目のうち少なくとも3課目を研修受講者が選択するものとする。

研修課目	目的	内容	時間数
介護保険制度論	介護保険制度に対する理解・認識を深	介護保険全般にわたるトピックな話題、介護支援専門員として十分に理解し	講義2時間

	める。	ておくべき事項等についての講義。	
対人個別援助技術 (ソーシャルケースワーク)	対人援助における面接・コミュニケーション技法のレベルアップを図る。	対人援助における面接・コミュニケーション技法を事例を活用したり、実際にロールプレイ等を活用して学ぶ。また、自らの事例を省みるなどし、問題、課題点を導き出し、技術のレベルアップを図る。	講義 2 時間 演習 7 時間
ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理	実務研修内容を就業後の実践に照らし確認することにより重要な倫理を会得させる。	ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員が基礎的に備えるべき、利用者主体、自立支援、公正中立、権利擁護、守秘義務、利用者ニーズの代弁等の倫理を徹底して講義。	講義 1 時間
ケアマネジメントのプロセスとその基本的考え方	ケアマネジメントの各プロセスの担う役割、目的を再認識するとともに重要性を理解させる。また、各自の実践を省みることにより問題点・課題を認識させ改善方策を導き出す。	アセスメント、プランニング、ケアカンファレンス・サービス調整、モニタリングの持つ意味と重要性について実際の事例を使って講義。	講義 3 時間
保健医療福祉の基礎理解( ) 「高齢者の疾病と対処及び主治医との連携」	要介護高齢者の疾病の特徴とその対処法(治療・介護)、医療関係者との連携方法を知る。	高齢者に多い疾病の特徴(主訴、症状、病態、治療、予後等)とその対処法(介護上の注意、薬剤の特徴)、感染予防の基礎知識について講義。主治医との効果的な連携手法について事例等を活用して講義。	講義 4 時間
保健医療福祉の基礎理解( ) 「社会資源活用」	要介護高齢者が活用しうる社会資源や、関係機関等との連携方策を知る。	生活保護制度、身体障害者施策、老人福祉施策、生活福祉資金などの概要について講義するとともに、関連する機関・ボランティア等との連携・協力・ネットワークの構築方法、インフォーマルな社会資源の活用と働きかけ、高齢者向け商品・サービスに関する状況、消費者セン	講義 3 時間

		ターなどの活動と連携について講義。	
保健医療福祉の基礎理解( ) 「人格の尊重及び権利擁護」	権利擁護を担う介護支援専門員の基本姿勢を確認するとともに、高齢者の権利擁護策について認識を高める。	高齢者虐待問題の状況、介護支援専門員が業務の中で日常的に権利擁護者として果たす役割、成年後見制度や福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業等）のあらましとその活用及び高齢者虐待防止法の内容、自治体との連携等を具体的な事例を使用して講義。	講義 2 時間
保健医療福祉の基礎理解( ) 「リハビリテーション」	リハビリテーションに関する知識の増進、介護支援サービスにおけるリハビリテーションの視点の重要性を知る。	リハビリテーションの可能性・見通しに関するアセスメント（リハビリテーション・アセスメント）の必要性と意義、各サービスを活用する際のリハビリテーションの視点の重要性、リハビリテーション計画、リハビリテーション専門機関・専門職との連携方法等について講義。	講義 3 時間
保健医療福祉の基礎理解( ) 「認知症高齢者・精神疾患」	認知症高齢者や精神疾患を持つ人への対処法を知る。	認知症高齢者・精神疾患に関する、医学的、心理的基礎知識とその支援法について講義。また、認知症高齢者におけるアセスメントとケアプラン作成の際の基本的な考え方、各種サービスの活用法、連携する際の留意点、家族等への支援方法について講義。	講義 3 時間
サービスの活用と連携( ) 「訪問介護・訪問入浴介護」	サービス内容を再認識させるとともに、自立支援に即した適正なサービスの活用方法と連携の方法を学ぶ。	自立支援を目的とする予防給付及び介護給付サービスにおける内容を再認識させるとともに、特色実態等を解説。活用の際の目標設定の仕方、サービス事業者との具体的な情報交換（提供しなければならない情報と提供を求める情報）・連携の方法と留意点、居宅サービス計画と訪問介護計画の関連付け、各サービスの活用事例、モニタリングの方法等について講義。	講義 3 時間
サービスの活用と連携( )		自立支援を目的とする予防給付及び介護給付サービスにおける内容を再認識さ	講義 3 時間

<p>「訪問看護・訪問リハビリテーション」</p>	<p>”</p>	<p>せるとともに、特色実態等を解説。活用の際の目標設定の仕方、サービス事業者との具体的な情報交換（提供しなければならない情報と提供を求める情報）・連携の方法と留意点、居宅サービス計画と訪問看護計画、訪問リハビリテーション計画の関連付け、各サービスの活用事例、モニタリングの方法等について講義。必要に応じて複数の講師を活用する。</p>	
<p>サービスの活用と連携（ ） 「居宅療養管理指導」</p>	<p>”</p>	<p>居宅療養管理指導の内容を再認識させるとともに、主治医に伝えるべき情報、主治医から得なくてはならない情報について解説。居宅療養管理指導の活用事例、医療関係職の活用と連携の方法について講義。</p>	<p>講義 3 時間</p>
<p>サービスの活用と連携（ ） 「通所介護・通所リハビリテーション」</p>	<p>”</p>	<p>自立支援を目的とする予防給付及び介護給付サービスにおける内容を再認識させるとともに、特色実態等を解説。活用の際の目標設定の仕方、サービス事業者との具体的な情報交換（提供しなければならない情報と提供を求める情報）・連携の方法と留意点、居宅サービス計画と通所介護計画、通所リハビリテーション計画の関連付け、サービスの活用事例、モニタリングの方法等について講義。必要に応じて複数の講師を活用する。</p>	<p>講義 3 時間</p>
<p>サービスの活用と連携（ ） 「短期入所・介護保険施設」</p>	<p>”</p>	<p>短期入所サービスの活用方法、活用の際の目標設定の仕方、利用前・後の情報交換（提供しなければならない情報と提供を求める情報）・連携の方法と留意点、居宅サービス計画への位置付け方、居宅サービス計画と短期入所生活介護・療養介護計画との関連付け、介護予防における考え方、各サービスの活用事例について講義。介護保険施設（介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護療養型医療施設）を利用者に紹介する際の留意点や</p>	<p>講義 3 時間</p>

		退所・退院計画を作成する際の留意点、施設担当者との連携方法等について講義。	
サービスの活用と連携( ) 「介護保険施設・認知症対応型共同生活介護・特定施設入居者生活介護」	〃	介護保険施設・認知症対応型共同生活介護・特定施設入居者生活介護における施設選定の留意点、施設担当者との連携方法について講義。また、これらの各サービス計画を作成するにあたっての留意点について講義。	講義 3 時間
サービスの活用と連携( ) 「福祉用具・住宅改修」	〃	福祉用具・住宅改修関係の知識の向上とその導入・活用の方法、活用のための基本的な視点、福祉用具専門相談、供給事業者等との連携方法、モニタリングの方法について講義。	講義 3 時間

## イ 専門研修課程

専門研修課程 について、具体的な研修の実施の考え方、各課程ごとの目的、内容等については以下のとおりであり、合計 20 時間以上とする。

なお、 から の課目を必修課目とし、 及び の課目、又は 及び の課目の組み合わせから、いずれかを研修受講者が選択するものとする。

研修課目	目的	内 容	時間数
介護支援専門員特別講義	ケアマネジメントに対する理解・認識を深める。	(例)「ケアマネジメント実践報告会」「介護支援業務自己評価手法を学ぶ」「苦情と事業者指導の方法」「障害者ケアマネジメント」「高齢消費者被害の最近の事例」等ケアマネジメントと介護支援専門員をめぐるトピックな課題等を学ぶ。	講義 2 時間
サービス担当者会議演習	サービス担当者会議の運営方法、職種間の連携方法に習熟	複数の職種の参加を得て、模擬サービス担当者会議を行い、自己・相互評価を通して効果的な会議運営方法とチームケ	演習 3 時間

	する。	アの方法を学ぶ。	
介護支援専門員の課題	介護サービスとケアマネジメントの課題を踏まえ、介護支援専門員の基本姿勢を再確認する。	介護保険制度や介護サービスを巡る諸課題及び介護支援専門員の基本姿勢・役割等について講義。あわせて、介護保険制度の理念に沿って、居宅サービス計画、施設サービス計画を作成し、サービスを提供するという目的に立ち返り、経験の振り返りを促進する。また、専門研修で学んだ利用者主体等の介護支援専門員の倫理についても再確認を行う。	講義 3 時間
「居宅介護支援」事例研究	自立支援、利用者本位の観点に基づく居宅サービス計画作成の視点・方法を学ぶ。	自立支援、利用者本位の観点から作成された居宅サービス計画の事例を取り上げ、それらがどのようなプロセスを経て作成されたのか、具体的なアセスメントの手法、サービスの活用方法、関係機関との連携手法、各個別サービス計画との関係等を学ぶ。	講義 6 時間
「居宅介護支援」演習	支援困難事例を含む多様なケースを課題分析し居宅サービス計画の作成に習熟する。モニタリング、再アセスメント、居宅サービス計画変更の過程を学ぶ。サービス担当者会議におけるサービス事業者などとの連携方法を学ぶ。	作成した居宅サービス計画を持ち寄り、相互に意見交換をしながら課題分析の方法、居宅サービス計画の作成のポイント、モニタリング、再アセスメント、居宅サービス計画変更のポイントを学ぶ。サービス担当者会議におけるサービス事業者などとの連携方法や適切な記録の手法等を学ぶ。 居宅サービス計画と個別サービス計画の関連について事例を通して、相互関係のポイントについて学ぶ。	演習 6 時間
「施設介護支援」事例研究	自立支援、利用者本位の観点に基づく施設サービス計画作成の視点・方法を学ぶ。	施設サービス計画のポイント、施設介護における日常的な介護と計画との関連等全体の流れを理解する。 自立支援、利用者本位の観点から作成された施設サービス計画の事例を取り上げ、それらがどのようなプロセスを経て作成されたのか、具体的なアセスメント	講義 6 時間

		の手法、各職種間、サービス提供者との連携手法、チームアプローチによる計画の組み方を学ぶ。	
「施設介護支援」 演習	<p>生活の質の向上及び継続性、在宅復帰の可能性等の施設特有の課題分析と施設サービス計画の作成に習熟する。</p> <p>モニタリング、再アセスメント、施設サービス計画変更の過程を学ぶ。施設における職種間の連携方法、施設外の資源の活用と連携方法を学ぶ。</p> <p>グループ事例検討の方法を学ぶ。</p>	<p>作成した施設サービス計画を持ち寄り、相互に意見交換をしながら施設サービス計画作成のポイントを学ぶ。</p> <p>特に施設入所直後の利用者の不安等を軽減する為のアプローチ、アドボカシー機能、切れ目ないチームアプローチによる安定したケア、身体拘束廃止、在宅復帰、地域との連携等について留意する。介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設にグループ分けして行ってもよい。</p>	演習 6 時間

#### 4 . 実施上の留意点等

- ( 1 ) 「介護支援専門員現任研修事業の実施について」(平成12年9月19日老発第646号厚生省老人保健福祉局長通知)に基づく基礎研修課程 又は基礎研修課程を修了している者は、専門研修課程 を修了したものとみなすことができる。
- ( 2 ) 「介護支援専門員現任研修事業の実施について」(平成12年9月19日老発第646号厚生省老人保健福祉局長通知)に基づく専門研修課程を修了している者は、専門研修課程 のうち、「 サービス担当者会議演習」及び「 介護支援専門員の課題(倫理を含む)」の受講を免除することができる。ただし、一度専門研修課程 又は別添5の介護支援専門員更新研修実施要綱に基づく実務経験者に対する更新研修を受講した者が再び専門研修課程 を受講するときはこの限りでない。
- ( 3 ) 当該研修の研修受講地については、原則として当該年度現在の勤務地の都道府県とする。ただし、やむを得ない事情が認められるときは、受講者が希望する研修受講地の都道府県と連携の上、その便宜を図るものとする。
- なお、この取扱いは一つの研修を異なる都道府県に分割して行い得るものではない。